

当社における新型コロナウイルス感染者の発生について

7月15日（水）当社従業員1名が新型コロナウイルスに感染していることが判明いたしました。

感染の拡大を防止するため、所管保健所の指導のもと速やかに以下の対応を取っております。

- ・15日（水）に所管保健所へ当該従業員の行動履歴を報告しました。

その結果、当該従業員の業務内容、また本人が常時マスクを着用し、さらに倉庫内では手袋をして作業していたこと等から、濃厚接触者はいないとの判断を頂いております。

- ・当該従業員の行動履歴をもとに、専門業者による施設内の消毒作業を実施しています。

- ・これまでも全従業員の出社前検温記録と体調の管理を行っておりますが、今後一層の徹底を図って参ります。

感染者の発見までの経緯

- 7月14日火曜日 7:30 当該従業員出勤 倉庫作業開始
- 9:40 休憩時に味覚が鈍かったことと倦怠感があった
為、上司に報告。
- 10:50 早退し、自宅待機を指示。
- 11:30 居住地管轄保健所へ相談し、3~4日の経過観察
を指示される。
- 14:30 当社より当該従業員へPCR検査を指示。
- 15:45 医療機関で診察、37.1度以上の発熱確認、PCR
検査実施。
- 7月15日水曜日 9:50 医療機関よりPCR検査の結果が陽性と判明。
この時点で体温は36度に下がる。自宅療養を
指示される。
- 17:00 当社所管保健所より濃厚接触者に該当する者は
いないとの連絡を受ける。

農林水産省のホームページにも、食品そのものにより、新型コロナウイルス感染症に感染したとされる事例はないとされております。

国際的な衛生規格である SQF 認証を取得している当社は、原料の入荷から製造、製品の出荷までの一連の工程を、科学的根拠を下にあらゆる危害要因を管理して製造しております。

また東京市場を開設している東京都からも、工場の稼働と製品出荷に関して、問題ないことの確認を得ております。

当社は日頃より国際認証 SQF 品質システムに加え、新型コロナウイルス感染予防に努めてまいりましたが、この度の結果を受け今後も商品の安全はもとより、社内外への感染拡大の抑止と従業員の安全確保を最優先に、関係各所と連携し、さらに強化して対応してまいります。

日頃よりご利用いただいておりますお取引様をはじめ、市場関係者の皆様には大変ご心配やご迷惑をお掛けいたしましたこと、心よりお詫び申し上げます。

何卒ご理解いただきますようお願い申し上げます。

2020年7月16日 株式会社 吉澤畜産

代表取締役社長 吉澤 直樹

